



自分の意思で
目の前のものごとを決断していく。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

「5」という数字を裏返すと「己」に見える。

自己の己、ひとりひとりの人間が色(赤と白)を違えながらも寄り添う。それが鎌倉商店のビジネスサイン、55にこめられた思いである。

フィフティ・フィフティは正しい意味の平等であり、

良好なバランスを意味していることは言うまでもない。

三代目店主である鎌倉吉孝さんは、二十五歳の若さで家業を継いだ。

「右も左も分らず、あれこれ新業務の挑戦をしてきました」

そうした経験のなかで、次第にこんなことに気づき始める。

「ひとが生きていくうえで肝要なのは、『選ぶ』という意識だ」

自分の意思で主体的に目の前のものごとを

決断していく、ということだろう。

道路をはさんで、食料品店とガソリンスタンドを営む。

畜産業の家で育った妻の直美さんは、すべての意味でベストパートナーだ。

そう、寄り添う5と5、なのである。

鎌倉商店 鎌倉吉孝・直美

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。